

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2019_07_13 奈良会場)

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 32、アンケート回収 27

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	7	
友人・知人の紹介	2	
ウェブサイト・ブログ	12	当財団 HP 7、国会図書館 HP 2、情報館 HP 1
メーリングリスト	3	校内メール 1
その他	3	図書館 2、成松先生 1
合計	27	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
24	3	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア DAISY の公共図書館での普及に向けた問題点と課題の検証に大変参考になる研究会でした。現状を把握するのに役立ちました。 ・マルチメディア DAISY 図書を知らず、今回学ぶことができたから。普段知ることのできない教育現場での実際の活用状況や学習障害に関する最新の情報を知ることができた。 ・ディスレクシアの生徒への支援について、具体的なアイデアをいただきました。 ・具体的な事例、専門的な講義があり、大変参考になりました。 ・わいわい文庫など具体的なお話が聞けて良かったと思います。 ・実際のマルチメディア DAISY の使われ方、活かされた例を聞くことができ、参考になった。発達障害のうち、学習障害にしぼっての話だったので、非常にわかりやすかった。 ・スライドを使ってわかりやすく説明いただき、良かったと思います。村瀬先生の話も良かったと思います。実際の生徒の様子、先生の苦労がうかがえました。 ・言葉だけは知っていても、実感として分かっていなかったことを、自分の中で整理することができました。特に、村瀬先生が見せてくださった動画が良かったです。 ・合理的配慮、バリアフリー法、ディスレクシアなど今知りたい読書環境の充実に資する情報が全て入りよくわかりました。 ・合理的配慮や学習障害などについての学びもでき実践も知ることができて充実していました。また頑張ろうという気持ちになりました。 ・基本的な事から先生の実例までお話しただけなので分かりやすかった。合理的配慮、なかなかすべてを対応するのは難しいができるところからという気持ちをいただいた。

- ・講師のお三方のお話がとても分かり易く、あいまいは知識だった部分もよく分かった。今後も仕事の中で活かしていきたい。
- ・講師の方の多様性がよかったです。いろんな立場の方がおられたので。河野先生の話、とても分かりやすかった。読み書き障害の中では一番分かりやすかった。
- ・様々な立場の方から有意義な話が聞けました。学校に持ち帰ります。予備的に置かせていただくのが少し忍びないので(使われる他の所で活用すべきではと…)活用できる機会を考えてみます。
- ・①活用できる本や教材について、②実際の事例から、③障害に迫って、という 3 つの観点から講話を聞かせていただくことができ、非常に分かりやすかったです。実際に学校でも取り入れたいと思うものもたくさんありました。LL ブックは自閉症スペクトラムの児童に使ってみたいと思いました。職場に戻り、いろいろと広めたいと思います。
- ・成松先生—「りんごコーナー」的なものを作りたいと考えていたので、具体的な情報提供がとても参考になります。
- ・村瀬先生—実践例をたくさんご紹介いただきひとりひとりに合わせることの大切さを感じました。健常者でも同じ支援があれば有効と思うことも…。
- ・河野先生—機器、道具の発展で支援の可能性がどんどん広がりそう。提供する側もアップデートが随時必要だと感じました。
- ・図書館館長をしておりますが、図書館としてすべきことがたくさん分かりました。資料の収集や「りんごの棚」設置等すぐに実践します。子どもたちの読書支援をしていますが、より幅広く対応できる知識を得ることができました。どのようにして理解していけるかという過程がよく分かりました。選択を拡げることがとても重要であることが学べました。読み書き障害に関して理解できました。軽妙・明確なお言葉でとても聞きやすかったです。
- ・今まで絵本の読み聞かせや学校図書館に関しての取り組みをしてきましたが、今回の内容のようなことは知識も薄く、学ばせていただき、考えることがたくさんありました。今日学んだことを何かの形で活かしていきたいと思います。
- ・読書と、紙媒体・文字は切り離せないと思っていた。自分の周りにどれだけ困難を抱えた人がいたことかと思う。学校現場でできるだけ支援の手を広げていきたい。いろいろな視点を教えていただいた。「その子の人生変わるかも」という言葉を支えに取り組んでみようと思った。
- ・「文字を大きくする」「機器を使う」、そうすればみんなが読書を楽しめるだろうと何となく感じていました。今日いろいろなお話や事例をお聞きし、バリアを取り除く方法はいろんなものがあり、同じ人に対しても、その時々によって異なる方法を提供する必要がある、ということが分かりました。障害を持つ人も、主体的に読書を楽しむことができるよう、サポートをしていきたいと思います。
- ・知らないことばかりで、とても興味深い研究会でした。公共図書館に勤める自分にできることは何なのか、考える良いきっかけとなりました。
- ・以前にも参加したことがありますが、新たな知識等を得られ、大変参考になりました。
- ・無料でこの内容は十分すぎるほど満足できました。一人でも多くの人に広めていきたいです。
- ・未記入 1

やや満足の理由

- ・実際の例を映像で取り上げていたから。百人一首をはじめとして、古語、掛詞の意味の解説について気になった。
- ・座学のみではなく、あと一時間以内くらいの分かち合いの時間が持てたら、リアルな工夫や大きな力付けになったのでは…と考えます。
- ・未記入 1

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・わいわい文庫の益々のご発展を期待しています。
- ・コンパクトですが中身の濃い研修でした。とても満足しました！
- ・貴重な研修を開いていただき、どうもありがとうございました。
- ・学びの多い一日となりました。熱い思いもとても伝わり、感動しました。
- ・研修の人数が多すぎることもなく、良い規模でした。矢部さんの最後の話が熱意をすごく感じました。
- ・今後もこのような研究会があれば参加したい。参加者の情報交換できる場があれば良い。
- ・無料ということで出張 OK が出ました。是非この形を保っていただきたいです。わいわい文庫送料無料もありがたいです。教育界はどんどん図書館や本にまつわる予算が削られていて危機です。
- ・大変すばらしいご講義でした。障害をお持ちの方の生きがいに ICT が有効であることが分かりました。わいわい文庫はぜひ体験会を含め、公共図書館として予算化も含め検討します。また必ずご連絡します。
- ・少しの配慮でできることがたくさんあることを知りました。あれもできない、これもできないではなく、できることから始めます。
- ・伊藤忠記念財団さんからわいわい文庫をいただいています。「りんごの棚」を作り、展示し、積極的に活用していきます。選べる環境整備が大切であるということを再認識しています。今日の学びをアウトプットしていきます。読書バリアフリーを模索中でしたが、目指すものが見つかった感があります。
- ・中学校(公立)で特別支援学級担任と、学校図書館担当をしている。本日の成松先生の講義は示唆に富んでいた。皆が来なくなる図書館を目指して文学以外の書籍、見て楽しめる図鑑、写真や絵を多用しているものも多く所蔵したつもりでいたが、そもそも読むこと自体が困難！な生徒に寄り添えきれなかったと反省した。
- ・要望を 2 つ。丸教体フォントのご紹介で教科書体と丸ゴシック体の「あいのこ」という用語が気になった。特に関西に来られた時は文例で阪神淡路大震災を挙げられるのは控えていただきたい。被災者のご自身、身内にいらっしゃる方が多い。今でもとてもつらいのです。
- ・今日の話をもっとたくさんの方に聞いていただき、知っていただきたいと思いました。是非今後もこのような取り組みをしてください。もう少し告知方法を工夫いただけるとたくさんの方に参加いただけるのでは…と感じました。
- ・無菌室に本を持ち込めるなど実際にできるかどうか難しい配慮と、可能な配慮、将来実現できる見込みの配慮についてもっと知りたい。著作物の損壊への対策をもっと知りたい。分かり易くとはいうものの、掛詞など意味合いが複数ある事柄について、内容をどれだけ正確に伝えられるかについて知りたい。
- ・書籍と一緒に書店で取り扱っていただけると図書館で整備しやすいと思いました。
- ・外国籍児童生徒のために多言語対応が充実してくると良いと思いました。
- ・怖い本で作ってください。5 分後の結末シリーズとか…。
- ・名札はいらないかなと思いました。使わなかったのです。
- ・未記入 : 11